

図書コーナー

展示場3階の奥の方、エスカレータの降り口を通り過ぎ、通路を通った先に「図書コーナー」があります。サイエンスショーコーナーの手前ですね。

ここには、2000冊あまりの科学に関する本を設置しており、また天文ガイド、日経サイエンスなどの科学雑誌の最新号が配架しており、その場で自由に閲覧できます。なお貸し出しはしていません。

私事ですが、子供のころ、近くに科学館やプラネタリウムがなかったため、好きだった宇宙の情報はもっぱら本で得ていました。絵本、図鑑、学習マンガ、入門書、新書、専門書、科学小説などを夢中で読んだものです。かこさとし、藤井旭、都筑卓司さんなどの本を夢中で読んでいました。太陽が一生の最後にもものすごく大きくなってしまふこと。ブラックホールが本当にあること。地球の内部がどうなっているか。恒星までの宇宙飛行は可能か。二次元や四次元って何なのか、なによりカラフルでダイナミックな宇宙の姿に魅せられました。そして、科学館に就職してから、そうした本の著者、松田卓也さんや福江純さんとお話する機会がたくさんできたのは、夢のようでした。

図書コーナーは、科学との出会いを演出できるように、学芸員セレクトでいろいろな本を置くようにしています。科学館出版の本も「うちゅう」はじめ全ておいています。著者や出版社からの寄贈もありがたい限りです。最近是人気の学習マンガ「サバイバル」シリーズから科学館にあっているものをおいたり、子供の科学の人気連載「ピーカーくん」などゆるい(でも実は内容はハードな)本をおいています。展示やプラネタリウムの特集に関係した本もできるだけ入手し、わかりやすいところにおくようにしています。ゆったりと本を読めるデスクなどもありますから、時には科学館の一日を図書コーナーで過ごしていただければと思います。新しい科学との出会いがきっとあると思います。

渡部 義弥(科学館学芸員)

